

# 市民意見募集手続きの結果について

## 1 計画等の案の名称 (仮称) 道の駅まるこ基本計画 (案)

## 2 市民意見 (パブリック・コメント) の募集及び結果

### (1) 募集要項

募集期間：令和6年12月16日 (月) から令和7年1月17日 (金) まで

### (2) 実施結果

提出状況：11通 (11人) ・ 45件

持 参	郵 便	電子メール	F A X	計
2通	2通	7通	0	11通 (11人)

### (3) 意見の区分

区 分	内 容	件数
反映する意見	意見等の内容を反映し、案を修正するもの	3
同様の意見	意見等と同趣旨の内容が案に盛り込まれているもの	5
検討・参考する意見	実施段階で検討・参考とするもの	6
その他の意見	その他の意見	31

### (4) 件数の内訳

意見分類	件数	意見分類	件数
管理運営への提案	11	事業スケジュール	1
防災機能の強化	7	情報発信機能の強化	1
駐車台数の強化	2	整備手法・事業手法	1
導入施設への提案	2	駐車場への提案	1
維持管理費の記載	1	運営事業者の選定	1
建築基準への提案	1	基本計画 (案) に同意	1
交通環境への懸念	1	その他意見	14
		計	45件

## 3 基本計画への反映について

次の3件の修正を反映したものを、「(仮称)道の駅まるこ基本計画」として策定する。

- ・「上田市地球温暖化対策地域推進計画」を踏まえて、省エネ設備の導入等も目指す。
- ・建屋配置については想定される浸水深より、高く盛土して安全対策を実施する。
- ・市の財政負担額における維持管理費を標記する。

4 市民意見（パブリックコメント）に対する市の考え方

【意見区分】反映する意見	・・・	3件
同様の意見	○・・・	5件
検討・参考とする意見	・・・	6件
その他の意見	・・・	31件 計45件

提出者	意見	基本計画 関連箇所	意見	意見分類	区分	市の考え方
1	1	P12「5.4本道の駅における駐車台数」	様々な曜日、時間帯に主に上小地域の道の駅にトイレ休憩に立ち寄り経験していることから感じた基本構想の矛盾点ですが、まず駐車台数は、近年三才山トンネル無料化以降の254交通量激増に則していません。大型車の台数は実感として変わりませんが、行楽期は殊に上高地に通じる岐阜県飛騨高山方面の安房トンネル経由や上信越道と中央道のショートカットとして軽井沢や万座草津温泉を目指す観光者の一般車両が新たに増えかなりの割合を占めているのではと憶測します。 このような現状の中、例えば基本構想のなかのトイレ機能だけが設置されたとしても、想定駐車台数でも道の駅へ入る車の駐車渋滞が予想できます。 広い公園併設の青木村の道の駅は、同様に松本方面へ向かう道路沿いにありますが、現在の254号線の交通量は、143号線の比ではありません。	駐車台数の強化		「駐車台数の強化」も重要ですが、長野県が調査している最新の交通量から、NEXCO基準を採用して適正な駐車台数を算出しました。
	2	その他	基本構想通りに設置された場合に発生した渋滞で懸念されることは、鹿教湯病院への救急車の遅れと搬送先への遅れです。時間を問わず鹿教湯病院にはほぼ毎日救急車が出動しているのではないのでしょうか。 鹿教湯病院は三才山病院の病棟と統合されてから、医療介入の多い急変も懸念される重い障害の方の療養病床も併設されています。消防署から10キロ以上離れている地域ですので、現在の交通量でも時間は掛かります。	交通環境への懸念		「緊急車両の通行の確保」は重要ですので、引き続き国道254号のバイパス化を長野県に要望して、交通環境の改善を求めてまいります。
	3	P10「5.3導入機能・規模一覧」	直近に開設された佐久穂町の道の駅に1週間ほどしてから見学に向きましたが、駐車場に至るまでの299号線沿いはどちら側からも渋滞し、通じる144号線、中部横断道から混雑している状況でした。 基本構想の中の最重要機能は防災拠点としての機能ではないかと感じましたが、混雑時の渋滞を想定しなければ、防災拠点としての機能は成立しないと考えます。	防災機能の強化		「混雑時の渋滞を想定し、防災機能を両立」はいただいたご意見のとおりですので、設計段階及び公安委員会との協議する中で、参考とさせていただきます。
	4	P10「5.3導入機能・規模一覧」	最後に、最近距離に設置されている長和町の道の駅マルメロの駅ながわを長年利用して感じる変化についてですが、現在のマルシェが整備される以前から、温泉併設のため連休時は混雑していましたが、整備されてからの車中泊車両の激増は、夜間の短時間のトイレ利用の際でも駐車することができないほどです。 最近では車中泊利用人口が増えているためか、平日でも複数台トイレ付近の駐車場に車中泊車両をみかけます。 駐車場に車があっても、道の駅内のコンビニには客がいらないことも稀ではなく、駐車台数が果たして経済効果をあげているのか疑問です。 近年の旅行者の宿泊形態の変様を踏まえれば、駐車場には一定数の有料区間設定は必要で、駐車場に有料区間を設けることで、ある程度の渋滞緩和を導く運営を希望します。	駐車場への提案		いただいたご意見の「車中泊の問題」は把握していますので、設計段階及び管理運営を検討する中で、参考とさせていただきます。
2	5	P12「5.4本道の駅における駐車台数」	この規模の駐車場で障がい者用の駐車スペースが何故こんなに少ないのか。本来なら障がい者専用スペースの区間が設置されてもおかしくない。最低でも5台分のスペース確保は必要ではないか。	駐車台数の強化		本計画で記載されている「身障者用駐車スペース」とは道の駅登録に必要な屋根付き駐車スペースとなりますので、信州パーキング・パーミット制度など活用して屋外駐車場でも確保に努めてまいります。
	6	P6「4建設地（位置図）」	立地的に建設予定地がその両側に“災害警戒区域”によって挟まれているが問題ないのか。どこまで災害時の想定をしているのか。	防災機能の強化		内村地区は、東内グラウンドと旧西内小学校の間の避難所施設がないことから、地域内の避難施設の充足を踏まえ、地域内の災害警戒区域外を選定し設置するものです。加えて、国道254号線は災害時の緊急輸送道路として位置付けられており、新たな道の駅は資器材のストックや輸送拠点としての機能として、の活用も想定しています。
	7	P10「5.3導入機能・規模一覧」	キャンプやサウナの施設が道の駅に必要とする理由は何か。全国どこのキャンプ場（特にオートキャンプ場等）でのマナーの悪さ、ゴミの放置問題は大きなデメリットの何物でもない。 又、サウナの施設についても道の駅には要らない。 キャンプ場は専用のキャンプ場に、サウナも専用のサウナ施設や温泉に任せるべきだと思う。どちらの施設も管理・運営には時間と手間がかかる。その為の人員確保は出来ているのか。	その他意見		基本計画（案）の導入機能については、ご意見の「キャンプやサウナ」は盛り込まれていません。ご意見のとおり近隣の専用施設でのご利用をお願いいたします。
	8	P10「5.3導入機能・規模一覧」	子育て施設で交換したオムツは回収してくれるのか。「子育て支援」と言うのであれば汚れたオムツを持ったまま移動（旅行等）している家族のことを考えても回収するのは当然と思うが。現在市では公立保育園でのオムツ回収が実施されているので道の駅でも実施は十分可能だと思う。	管理運営への提案		「子育て支援の充実」はいただいたご意見のとおりですので、維持管理・運営を検討する中で、参考とさせていただきます。
	9	P6「4建設地（位置図）」	内村川を利用した自然体験的な場所を考えているようだが予定地は川からも近く大雨が降った場合、氾濫する恐れがある。今年の大雨の時も川の水量が増し濁流になっていた。大雨でも安全性が確保できるという証左はあるのか。	防災機能の強化		建屋配置は想定される浸水深より、高く盛土して安全対策を実施しますので、基本計画のP14の記載内容を修正させていただきました。
	10	P10「5.3導入機能・規模一覧」	敷地がゆったりしているのはよいが広ければ広い程、維持・管理に経費がかかる。大きければいいというものではない。又物や商品が余る程置く必要もなく。回転効率のよい物を品揃えすべきと思う。	管理運営への提案		P4、5の基本方針に沿って本事業はPFI方式を採用して、設計・建設・維持管理・運営について、民間活力を最大限活用して収益施設については独立採算を目指す提案を受け事業者を選定する事業手法となります。
	11	その他	周辺は人口も少なく高齢化もあり地域住民がこの施設を日常的に利用すること考えるには長い目で見て無理がある。 その分増加した交通量により市外・県外者の利用を考えているとすれば、それで維持・管理・運営・利益は今後を見据えてどうなのか。	その他意見		いただいたご意見のとおり「人口減少が顕著な地域」ですので、交流人口を増加させることで地域活性化を図るため基本計画P3道の駅の今後の方向性である「まちぐるみの戦略的な取組」が求められています。
	12	その他	将来、青木村に松本と繋がるトンネルが開通すれば、この254号線の交通量も又変化するのではないか。更に青木村には「道の駅あおき」という利便性の高い道の駅もありその認知度も高い。	その他意見		上田建設事務所で作成した青木トンネル開通後の交通量推計も視野に入れて、今回の基本計画（案）を作成しました。 また、収益施設については民間活力を最大限活用して独立採算を目指します。
3	13	その他	計画全体に、青木峠のトンネルが開通したときにどのくらい通行量があるのか、疑問です。もう一度計画を練り直す必要があるのではないのでしょうか。 工事費等の見積もりを現下の最低賃金・物価の上昇等を鑑みて再考するべきだと思う。 これは上田市にとって必ず必要な物なんだろうか。	その他意見		上田建設事務所で作成した青木トンネル開通後の交通量推計も視野に入れて、今回の基本計画（案）を作成しました。
4	14	その他	荻窪・虚空蔵地区では、休耕地活用として「蕎麦」を栽培しています。地域に「そば屋」は数多くありますので地元のそば粉を利用して「ガレット及びクレープ」を販売することを勧めます。 ガレットのトッピングには、地元の季節の食材を利用することでアピールします。 ガレットはフランス・ブルターニュ地方発祥の郷土料理です。 千曲川ワインバレー生産ワインも一緒にアピール出来、若い人々の集客にもつながると思います。	管理運営への提案		P4、5の基本方針に沿って本事業はPFI方式を採用して、設計・建設・維持管理・運営について、民間活力を最大限活用して収益施設については独立採算を目指す提案を受け事業者を選定する事業手法となります。
	15	その他	地域の方々のコミュニティ形成、講座、ワークショップとして利用は必要。 地元では高齢化が進んでいます。高齢者のふれあい事業実施場所としての利用を提案します。 介護予防体操及びふれあい事業は公民館を利用していますが、公民館は老朽化が進み、冷暖房が十分に機能していません。 是非屋内スペースを利用し高齢者のコミュニティ形成が出来、一緒に認知予防が出来るとよいと思います。	管理運営への提案		いただいたご意見の「地域の方々のコミュニティ形成」などの施設を活用した事業展開も大事ですので、関係部署に情報を共有させていただき参考とさせていただきます。

提出者	意見	基本計画 関連箇所	意 見	意見分類	区分	市の考え方
4	16	P10「5.3導入機能・規模一覧」	帰宅時に買い物出来ることも最適と思います。その為に日用品、総菜等の販売もしていただけると助かると思います。	管理運営への提案		P4、5の基本方針に沿って本事業はPFI方式を採用して、設計・建設・維持管理・運営について、民間活力を最大限活用して収益施設については独立採算を目指す提案を受け事業者を選定する事業手法となります。
5	17	その他	財政的な制約も出てくると思いますが、可能な限り基本計画（案）に沿った施設整備を望みます。	基本計画（案）に同意	○	計画が実現できるように事業を推進してまいります。
	18	P11「5.3導入機能・規模一覧」	概要版の「導入機能・施設規模一覧」の緊急避難所の収容人数について、28人との説明を受けたが、できれば40人程度に引き上げてもらいたい。（R6.12.20東内・西内地区安心安全の会役員総会での説明）	防災機能の強化	○	整備計画は、休憩機能に加え独自の地域振興や交流の場を踏まえ規模を選定しており、災害時の屋内施設の収容規模は既存計画で示しする範囲となりますが、屋外交流広場などの活用も踏まえることから、地域の一定の収容数を確保できると想定しています。
	19	その他	道の駅の成否については、直売所や飲食施設等の魅力をどう創出できるかが一番のポイントになると思われるので、運営事業者の選定について万全を期していただきたい。	運営事業者の選定	○	P4、5の基本方針に沿って本事業はPFI方式を採用して、設計・建設・維持管理・運営について、民間活力を最大限活用して収益施設については独立採算を目指す提案を受け事業者を選定する事業手法となります。
6	20	P10「5.3導入機能・規模一覧」	あさつゆの道の駅店として入ってくれば、生産者は助かる。あさつゆを見ていると14時以降は商品が少なくい。武石/塩田エリアからの出荷が必要。（閉店時間にもよるが、16時頃まで欲しい）	管理運営への提案	○	いただいたご意見の「上田市産の農産物」の販売は求めてまいりますので、運営事業者を選定する際の要求基準となります。
	21	P10「5.3導入機能・規模一覧」	フードコートはキッチンカーや一坪程度の小さな店を2～3店舗置ける専用エリアを設けられないか。纏まった方が見栄えもする。	導入施設への提案		P4、5の基本方針に沿って本事業はPFI方式を採用して、設計・建設・維持管理・運営について、民間活力を最大限活用して収益施設については独立採算を目指す提案を受け事業者を選定する事業手法となります。
	22	P10「5.3導入機能・規模一覧」	飲食施設は、峠の茶屋イメージと洒落たカフェの延長線の店舗の二面性を持たせられないか。	導入施設への提案		P4、5の基本方針に沿って本事業はPFI方式を採用して、設計・建設・維持管理・運営について、民間活力を最大限活用して収益施設については独立採算を目指す提案を受け事業者を選定する事業手法となります。
	23	その他	その他で、川遊びは可能だが、私が子供の頃に遊んだ泡たちや丸どぶ（飛び込み）今の時代安全性で許されないと考える。	その他意見		河川法のルールとモラルを守って、ご利用をお願いするものと考えています。
	24	その他	上田市の西の入口として「サマーウォーズ」で勝負してもらいたい。佐久は佐久平周辺で北斗の拳。アニメのキャラクターは歳を取らない。又、内容が上田市その他でコマーシャル的に非常に魅力的。	その他意見		P4、5の基本方針に沿って本事業はPFI方式を採用して、設計・建設・維持管理・運営について、民間活力を最大限活用して収益施設については独立採算を目指す提案を受け事業者を選定する事業手法となります。
	25	P11「5.3導入機能・規模一覧」	例えば、カクイチで倉庫を作ってもらい、コマーシャル込みで建設費の圧縮に努められないか。	その他意見		P4、5の基本方針に沿って本事業はPFI方式を採用して、設計・建設・維持管理・運営について、民間活力を最大限活用して収益施設については独立採算を目指す提案を受け事業者を選定する事業手法となります。
7	26	その他	近年、地震、異常気象による災害を目の当たりにし長野県上田市に於いても他人事と考えず、災害時の人の命を守る。救命活動を組織化し、現在社会等でも取り組んでいる自営消防隊に加え自営救助隊を店の運営にあわせて組織化する。 災害が発生した時、店の対応をどうするべきか、店に従事する店員の考え方を普段より訓練する店員は通常お客のサービスを考え上田市、近郊の市町村、長野県をピーアールし、リピーターを増やす事のサービス向上を図る。しかし、災害時、店員は気持ちを入れ替え、客の人命・財産を守るべく救助活動に変身する。 その時、店員は救命隊員のごとく客を誘導、安全な場所へ導く、店員はサービス業と救助隊の2面性を持つよう、日頃より訓練する。又、市役所・災害本部と連携を取り指示に従う。 店の経営者は現場を把握し対応し行動できる人間を配置する。	管理運営への提案		店舗の利用者の安全管理は、消防法に基づく適切な避難誘導を行うために、従業員による定期的な防災訓練などの実施を想定しています。加えて、市の指定避難所として開設する場合は、上田市の地域防災計画等に基づき避難所運営委員会を設置することから、地域や施設管理者との連携による防災訓練の実施による、防災に対する従業員の育成も目指していきます。
	27	P11「5.3導入機能・規模一覧」	それにはサービス業の経験もしたり、災害時、応援隊が来るまでに道の駅確保、土砂の撤去を考え、建設機械を動かせる者、又、トイレに付いては災害時を想定し浄化槽を設置し下水道との切替対応、水に付いては水道から災害時用簡易水道との切替等、経営者を配置する会社（店）の社会的責任を全うする為、従来の店の販売業務に加え災害時敏速に対応できる経営者にまかせる必要がある様に思える。	防災機能の強化		災害時に施設が有する防災機能を迅速かつ効果的に使用するために、日常的な点検及び定期的な訓練の実施して対応してまいります。
	28	その他	近年はインバウンドのお客様も増えメニューの食材料に熟知する必要がある。 国内食材料はもちろん外国の食文化の多様性にも考慮し、宗教、ベジタリアン等の対応が必要であり日本人のお客にも異国文化の食を楽しめ様メニュー構成したい。 又、地元食材を取りそろえ季節の食を楽しめる様、国産品を重点に取り組みたい。 食文化は店側の一方的押し付けでなく地元食材との融合を考え、お客様の“おどろき”を提供したい。	その他意見		P4、5の基本方針に沿って本事業はPFI方式を採用して、設計・建設・維持管理・運営について、民間活力を最大限活用して収益施設については独立採算を目指す提案を受け事業者を選定する事業手法となります。
	29	P11「5.3導入機能・規模一覧」	災害時の食料の対応として店の1ヶ月分を絶やさずストックし適切に対応できるようにする。	防災機能の強化		本施設は、指定緊急避難所としての位置付けを計画していることから、備蓄倉庫を設置し、食料や資器材など一定の備蓄を確保します。また、市の指定緊急避難所として位置付けることにより、市の備蓄品による補完体制も構築できることとなります。
8	30	その他	トイレは定期的な清掃を実施して欲しい。トイレが汚いとどんな良い施設があっても立ち寄りたくないと思う。	管理運営への提案		「清潔なトイレ環境」はいただいたご意見のとおりですので、運営事業者に求めてまいります。
	31	P11「5.3導入機能・規模一覧」	情報提供施設にて、この手の掲示板は若者はあまり見ない印象がありもったいない気がする。若者の興味を引くために若者にフォーカスした情報があるとよいと思う。以前上田市のジュエリーショップにて上田市の観光マップを頂いたが、カフェや古着屋など若者に嬉しい情報が盛りだくさんでとてもうれしかった。これをきっかけに上田の情報に触れるきっかけになると思う。	情報発信機能の強化		道の駅登録・案内要綱の情報提供施設等の規定の見直しを予定しているため、国の動向を見ながら時代に適した情報発信に努めてまいります。
	32	P11「5.3導入機能・規模一覧」	足湯が欲しい、足湯があれば休日にわざわざ訪れる理由になると思う。	その他意見		基本計画（案）の導入機能におきまして、ご意見の「足湯」は盛り込まれていません。近隣の温泉施設である丸子温泉郷などをご利用ください。
	33	その他	サマーウォーズと大々的にコラボして欲しい。等身大形など。 顔はめパネルのような微妙なコラボであればやらない方が良いような気がする。コラボするのならしっかりとコラボするべき。宇部市ときわ公園のロンギヌスの槍のように突き抜けたコラボの方がバズると思う。	管理運営への提案		P4、5の基本方針に沿って本事業はPFI方式を採用して、設計・建設・維持管理・運営について、民間活力を最大限活用して収益施設については独立採算を目指す提案を受け事業者を選定する事業手法となります。
	34	P11「5.3導入機能・規模一覧」	飲食施設に無料の給茶機を置いてほしい。	管理運営への提案		いただいたご意見の「無料の給茶機」につきまして、維持管理・運営を検討する中で、参考とさせていただきます。

提出者	意見	基本計画 関連箇所	意 見	意見分類	区分	市の考え方
8	35	P11「5.3導入機能・規模一覧」	特産販売所は何でもいいが、どこにも負けない強みがほしい。例えば、「珍しい野菜を県内一そろえています」、など1点突き抜けると「せっかくなら買おうかな・・・」と思える。そこらへんのサービスエリアのような、どっちつかずなお土産屋だともったいない。	管理運営への提案		P4、5の基本方針に沿って本事業はPFI方式を採用して、設計・建設・維持管理・運営について、民間活力を最大限活用して収益施設については独立採算を目指す提案を受け事業者を選定する事業手法となります。
9	36	その他	ここに示されている「住民の要望があったから受け入れて作ることになりました」、という流れではなく、専門職にある行政や研究機関がきちんと計画を立てて逆に市民に説明する、そのような流れであってほしかったです。  ここに示されている流れでは、道の駅ができることによって、万一、悪影響や効果が薄かったりしたとしても、責任は元の要望をした地元の住民たちであって、行政側ではない、と前もって言い訳を提示しているような順番になっているような感じが感じられます。	その他意見		これまでの経緯を記載しているので、責任の所在を地元の住民に押し付けているのではなく、市が事業主体となり住民ニーズを受けての事業実施となります。
	37	その他	上田市や当該地域が抱えている課題、その背景にあるものをきちんと専門知識を持つ人が調査分析して、その上で今後必要となるものは何かを導き出し、その効果を社会や環境の多面的な分野から試算をし、最大の効果が得られるように計画を策定し、それが住民たちの要望が持つ背景にある本当の課題を解決するのに役立つ、そのようなプロセスで進めることが今後は重要と考えます。  今までの人口増大、新しい住居需要、市場の拡大、高度成長、自動車優先社会、化石燃料や自然資源の濫用が続いていくことは考えづらく、ここにあるような新しく足していくだけの政策ではなく、今あるものをうまく使い、作り替えていく、そのことによって、今ある農地、山林、寺社、民家などの魅力を若い世代に伝えながら、自転車や公共交通で移動しやすい社会、農地や山林の自然と触れ合う人間的な暮らしの素晴らしさを示していくことが求められます。	その他意見		第二次上田市総合計画において、いただいたご意見のとりのプロセスを踏んでの道の駅整備計画の方向性を定めています。
	38	その他	市が自ら「農振除外、農地転用、開発行為」を進めていくというのは、コンパクト・アンド・ネットワークが強く求められている現在、今後の社会で、民間への悪い見本になるのではないのでしょうか。	その他意見		上田市立地適正化計画の基本理念である「地域の個性が輝く生活快適・健幸都市"上田"」を掲げており、循環型都市機能集約拠点以外でも愛着を感じている市民もいることから、各地域でも快適に暮らせる拠点づくりとそれらを結ぶネットワークの充実を図ることで相互に存続する関係の継続が求められています。
	39	P25「9事業スケジュール」	令和11年度に施設施工とはあまりに時間がかかりすぎる計画ではないでしょうか。休憩施設が必要とありますが、それは今すぐ必要な事項ではないのでしょうか？令和11年度まで放置するのでしょうか？すでに今あるものの再利用、利用促進、改築、などの方を同時に優先的に行うべきではないでしょうか？	事業スケジュール		既存施設の再利用や改築なども検討しましたが、土砂災害警戒区域や内村川の想定される浸水区域など、より安全な場所に避難や休憩できるように建設地を選定した事業スケジュールとなります。
10	40	P18「7.3.1整備手法（一体型・単独型）」 P23「7.6本事業における事業手法」	全国では「道の駅」総数1,154 駅のうち一体型は630 駅（55％）であり、単独型は524 駅（45％）となっています。（平成31 年3 月現在）2 年前の意見募集時には私の指摘のみ修正となりましたが、この計画書は私の指摘を無視した「単独型」方式で進めるのがもっとも適切として、PFI 方式（単独型）での事業計画となっています。  なぜ「一体型」とすべきかは、この道の駅事業は20 年程度で終わる事業ではなく、これから50 年100 年と継続する前提の事業であるからこそ、その責任を明確にするためにも「一体型」で、官民一体となって事業を行っていくべきだからです。  本当にこの道の駅を構築したことで、「交流人口の拡大」はするのでしょうか？「本市や丸子地域」にリピーターが訪れてくれて、「定住人口の増加」に繋がる計画書となっているのでしょうか？  なぜならば、この計画書には、「わざわざここに行く理由」が存在しません。駐車場、トイレ、休憩、農産物販売、ＥＶ充電スペースどれもこれもありきたりです。目新しさは唯一温泉＝足湯ぐらいでしょうか？青木峠の道路整備も耳にします。上田から松本に抜けるこの場所の交通量は今後どう推移していくと予測されていますか？  先に書いた「わざわざここに行く理由」をより強くこの施設に作らなければ、数年間は人が訪れるかも知れませんが、30 年後、50 年後は設備維持費もままなくなってしまうのでは無いのでしょうか？そうなれば、ずっと公費で赤字を補填し続けていくことになってしまうと思います。  もし本気でこの道の駅を成功させようとするならば、明確に「一体型」直営方式とし、造成場所も含め、創った物で数年後には絶対に黒字化するという事業計画内容に仕上げてから事業していただくことを強く望みます。	整備手法・事業手法	○	基本計画P18に記載しているとおり、整備手法は長野県と上田市で「一体型」の道の駅と整備します。  PFI方式は、設計・建設・維持管理・運営について、民間活力を最大限活用して収益施設については独立採算を目指す事業手法となります。
11	41	その他	パブコメをいくつか出させていただきました。以下は公開された結果を拝見しての意見です。  「意見の概要（要旨）」として簡潔に省略されたものが記載されていますが、ニュアンスが変わっているものがあります。また75件の意見が寄せられ、そのうち43件に対する「市の考え」が「いただいたご意見については、設計段階及び管理運営を検討する中で、参考とさせていただきます。」と同じ文章でした。  上田市で他の課のパブコメを出した時には意見は全文が掲載され、それぞれ個別に市の考えが解説されていました。背景や根拠を説明した全文を公開し、行政と市民とで共有すべきではないかと考えます。	その他意見		いただいたご意見については、本計画の市民意見（パブリックコメント）に対する市の考え方の公表に反映させてさせていただきます。
	42	P6「4.建設地（位置図）」	建設地は「災害危険エリア外」とありますが、左右に土砂災害計画区域があり挟まれています。左右だけでなく、国道254号は土砂災害計画区域が多数あります。このどこかで土砂災害があれば通行止めとなり、この道の駅は防災拠点にはなりにくいと思いますがいかがでしょうか？計画では丸子地域の防災力の向上を基本理念としています。問題ないでしょうか？	防災機能の強化		内村地区は、東内グラウンドと旧西内小学校の間の避難所施設がないことから、地域内の避難施設の充足を踏まえ、地域内の災害警戒区域外を選定し設置するものです。加えて、国道254号線は災害時の緊急輸送道路として位置付けられており、新たな道の駅は資器材のストックや輸送拠点としての機能としての活用も想定しています。
	43	P24「8.市の財政負担額の整理」	維持管理・運営の費用が公開されていません。前回のパブコメではこのランニングコストに対する意見が多数ありましたが、「いただいたご意見については、設計段階及び管理運営を検討する中で、参考とさせていただきます。」との回答でした。施設を建てたあと解体するまでの「ライフサイクル全体のコスト」は、建設費の4～5倍かかると言われており、将来に渡って影響を残します。現時点での試算の公開をお願いいたします。  上田市公共施設白書では今後40年間公共施設の更新改修費用は平均年間72.6億円と試算されています。人口は減っていきますので将来世代の税負担は更に大きくなります。また、近い将来多くの地方自治体の財政が赤字に転じると予想されています（千葉大学倉阪研究室 未来カルテなど）。それを前提とした試算と計画をお願いします。	維持管理費の記載		いただいたご意見の「ライフサイクル全体のコスト」についての説明が足りませんでしたので、現時点での試算した維持管理費について基本計画のP24に追記し市の財政負担額を示させていただきます。
	44	その他	拠点集約の都市構造や脱マイカー依存を目指す上田市立地適正化計画との整合性はいかがでしょうか？	その他意見		上田市立地適正化計画の基本理念である「地域の個性が輝く生活快適・健幸都市"上田"」を掲げており、循環型都市機能集約拠点以外でも愛着を感じている市民もいることから、各地域でも快適に暮らせる拠点づくりとそれらを結ぶネットワークの充実を図ることで相互に存続する関係の継続が求められています。
	45	P11「5.3導入機能・規模一覧」	気候変動が進み災害が増える中、新築公共施設はZEBであることが求められています。この建物は2050年まで使用されるはず。ZEB改修は高額になりますので、新築時にZEBにすべきです。低層の建物はハードルが低いはず。CO2削減が最大の防災です。	建築基準への提案		いただいたご意見の「ZEB化」については、市としても取り組まないといけな課題ですが、限られた施設整備費の中で、ZEB化が実現できるか不透明な部分もありますので、基本計画のP10に省エネルギー設備の導入を追記し、設計段階で検討させていただきます。